

委員会報告書

委員会名	平成 27 年度 第 3 回 生産技術委員会
開催日時	平成 27 年 9 月 3 日 (木) 15 : 30~17 : 30
開催場所	JX 日鉱日石開発 2 階 E201 号会議室
出席者 (敬称略)	大下委員長、渡辺、内山、濱本、長岡、峯岸、大西、廣島、林田、早津、柳 (中居代理として)、栗原、河合、寺本・田中 (運営幹事) 以上 27 名中 15 名
議事	<ol style="list-style-type: none"> 1. 委員交代 <ul style="list-style-type: none"> ・ 三菱商事石油開発 太田 総一郎 様 (中居委員と交代) 2. 幹事会報告 <ul style="list-style-type: none"> ・ 平成 28 年度秋田大会の準備が順調に進んでいる。 ・ 秋季講演会開催日は、当初予定日が JOGMEC テクノフォーラムと重なったため、11 月 4 日 (水) に変更された。 ・ 協会誌印刷所選定は年内に結論が出る見込み。 ・ 協会賞選考委員会から「若手技術者のために『奨励賞』を設けられないか」という提案があり、理事会および幹事会で検討がなされることとなった。 3. 理事会報告 <ul style="list-style-type: none"> ・ 「奨励賞」のような賞を設けるという点では、理事会の議論の中でも肯定的な意見が多く、具体的な内容についてさらに検討を進めることとなった。 <ul style="list-style-type: none"> ✓ 生産技術委員からは、「奨励賞」の新設につき、「若手技術者に論文投稿の機会を与えられる」、「モチベーションアップにつながる」、「若手を協会活動・協会誌活性化に関与させることができる」等の肯定的な意見が挙げられた。 ・ 学生優秀発表賞の複数回授賞の可否については、委員会ごとに事情が異なるので、各委員会で柔軟に対応することとなった。 4. シンポジウム原稿の査読状況について <ul style="list-style-type: none"> ・ 11 件中、初稿 9 件受領。未提出の 2 件についても原稿作成中であることを確認済み。 ・ これから生産技術委員担当者による査読作業がスタートする。 ・ 査読担当者は、2 週間以内に査読を完了させること。初出略語のフルスペル記載、単位系、参考文献の記載方法、図表の見やすさについてよく確認し、投稿要領と異なる部分があれば指摘すること。 5. 平成 28 年度春季講演会シンポジウムテーマについて <ul style="list-style-type: none"> ・ 「低油価環境」を念頭に置いて「操業最適化」に関する講演題材があるかどうか各社で調査をしてもらうこととなった。 ・ 主な議論の内容は下記の通り。 <ul style="list-style-type: none"> ✓ 事前アンケートでは、来年度シンポジウムテーマとして「低油価環境」、「操業最適化」、「モデリング・シミュレーション」、「IOR/EOR」といったキーワードが多く挙げられた。 ✓ 「低油価環境」がテーマでは、コスト削減等の話題ばかりで、

技術的な講演は少なくなり、興味を引く内容ではなくなる可能性もある。

- ✓ 「操業最適化」であれば様々な要素技術や実例を含むことができるため題材が集まりやすい。一方、あまりにも広範にわたる題材が集まった場合、次年度以降のテーマ選定が困難になってしまう。
- ✓ これまでテーマとならなかった、フロンティアエリアでの開発に関するシンポジウムが斬新と考えるが、油価が低迷している今は題材を集めるのは難しいかもしれない。
- ✓ 「低油価環境」では、開発・生産において新技術や IOR/EOR の適用はしづらくなっているのではないか。
- ✓ むしろ「低油価環境」で生き抜くためには技術力が必要であって、どのように無駄を削って高油価環境下と同じクオリティの成果を出しているのか（「操業最適化」）、足元の技術を見直してフィールドに適用する事例や、低油価環境下でも対応可能な各種技術の研究開発等の紹介があれば、時勢に合致したシンポジウムとなるのではないか。
- ✓ 技術力で「低油価環境」にも対応できるというのは、プラスイメージのメッセージを学生にも伝えられるかもしれない。
- ✓ 「操業最適化」でまずは講演題材を募り、その中で低油価をテーマ・サブテーマとできるようであればそこに集約するのではどうか。

6. 大学での講演内容について

- ・ 次回・次々回委員会は大学での開催となり、委員会のあとの話題提供として、参加各社より「我が国の石油・天然ガス開発業界の活動紹介」と題してプロジェクト紹介や仕事の様子の紹介を行う。
- ・ 運営幹事は、活動紹介を希望する委員の数を9月第2週中にとりまとめ、大学側との時間・会場の調整を行なう。

7. 次回の委員会開催場所について

- ・ 第4回：平成27年11月6日(金) 15:30～ @北海道大学
- ・ 第5回：平成27年12月4日(金) 15:30～ @京都大学
- ・ 第6回の開催場所・日時(1月 or 2月)は運営幹事にて調整する。

8. 話題提供

- ・ 「北海での油ガス田開発事例の紹介」
JX 日鉱日石開発 事業1部 欧州グループ 古田 哲郎 様

以上